

目次

---

半田滋男	野生の版画家 たけがみ たえ に聞く	001
名嘉山リサ	川内康範作『太陽は撃てない』の帰着点 ——劇映画、テレビ映画、連載小説から少年向け反戦小説へ	013
野々村文宏	感染症と芸術——田舎の側に立って	031
一柳富美子	知られざるチャイコフスキイ ——読まれなかった『日記』のページから	037
松村一男	古代地中海世界の宗教研究をめぐる動向 ——リュブケ『パンテオン』を中心に	051
安田賢人	音読の習慣と黙読 ——古代ギリシャ・ローマを中心とした 文化的背景としての黙読の研究	071
安田早苗	「具体」が子どもの美術を参照した理由についての一考察	093
[タテ組]		
稲葉有祐	初代中村七三郎と俳人の交流圏	148 [01]
小関和弘 / 堂前雅史	[注釈] 岡上の暮らしと社会の諸相 ——岡上在住・宮野薫さんの文章	132 [17]